

病防第16号の9
平成28年12月27日

各 { 関係機関の長
市町村長（農務関係課）
農業協同組合長
農業共済組合長
病虫害防除員 } 様

岐阜県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報（地区情報）の送付について

別紙のとおり予想されますので、指導上の参考にしてください。

記

病虫害発生予察情報（美濃地域） 1月予報

所 属	岐阜県病虫害防除所 企画情報係		
係 長	石 川	担 当	杉 原
TEL	058-239-3161（直通）		
FAX	058-234-0767		

平成28年度 病害虫発生予察情報(美濃地域:施設野菜) 1月予報

【イチゴ】ハダニ類

寄生株率の高いほ場が確認されています。同一ほ場内でも局所的に発生する場合がありますため、よく観察してください。天敵を導入したほ場でハダニ類の発生が抑制できない場合は、薬剤による防除を徹底し、春先に再度、天敵を導入してください。

【施設野菜】灰色かび病

トマトでは葉先枯れや枯死した花卉、イチゴでは収穫後の果梗で発生が見られます。今後の気温は平年より高く、降水量は平年より多いと予報されており、発生に好適な条件が続くと考えられます。発病部位は早期に除去するとともに、枯死部位は本病の発生源となるため、早めに取り除き、ほ場外へ持ち出し、処分してください。

○主な病害虫の発生状況及び今後の予測(1月)

作物	病害虫名	1月(予測)	発生状況及び今後の予測	12月(発生)	防除上の注意事項
イチゴ	灰色かび病	やや少	枯死部位で発病が認められる。今後、降水量は平年より多いと予報され、増加が予測される。	少	<ul style="list-style-type: none"> ・灰色かび病 発病果や枯死した果梗は見つけしだい除去し被害の拡大を防ぐ。 ・ハダニ類 ほ場内をよく観察し、局所的な発生に注意する。防除薬剤は同一系統の連用を避ける。
	うどんこ病	少	調査ほ場で発病は認められない。気温が発病適温を下回るため、急激な増加はないと予測される。	少	
	ハダニ類	多	調査ほ場により発生量に差がみられる。ほ場内での密度は上昇しており、今後さらに増加すると予測される。	多	
	コナジラミ類	少	調査ほ場で発生は認められない。今後、気温の低下により、急激な増加はないと予測される。	少	
トマト	灰色かび病	やや少	葉での発病が認められる。今後、降水量は平年より多いと予報され、増加が予測される。	少	<ul style="list-style-type: none"> ・コナジラミ類 厳寒期でも低密度で生息しているため、防除を徹底する。
	コナジラミ類	少	調査ほ場で発生が認められる。今後、気温の低下により、急激な増加はないと予測される。	少	
※キュウリ	褐斑病	少	調査ほ場で発病は認められない。耐病性品種では今後も発生は少ないと予測されるが、罹病性品種では発生に注意する。	少	<ul style="list-style-type: none"> ※12月調査は促成作型 1月予報は半促成作型 ・べと病 暖房機や循環扇等を利用し、葉の結露時間を少なくする。また、罹病葉を取り除き、薬剤散布を行う。 ・アザミウマ類(ミナミキイロ) 厳寒期でも低密度で生息しているため、防除を徹底する。
	うどんこ病	少	調査ほ場で発病は認められない。気温が発病適温を下回るため、急激な増加はないと予測される。	少	
	べと病	やや少	調査ほ場で発病が認められる。今後、降水量は平年より多いと予報され、増加が予測される。	少	
	アザミウマ類	少	調査ほ場で発生は認められない。今後、気温の低下により、急激な増加はないと予測される。	少	
	コナジラミ類	少	調査ほ場で発生は認められない。今後、気温の低下により、急激な増加はないと予測される。	少	

注1) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

注2) 調査品種: イチゴ(濃姫・美濃娘)、トマト(CF桃太郎J:葉かび耐病性)、キュウリ(千秀2号:褐斑病耐病性)

施設野菜 灰色かび病

本病は、トマトやイチゴ、キュウリ等の果実、茎葉、葉柄、花卉、ガク、果梗など、地上部のほとんどを侵しますが、特に果実に発生すると褐変または軟化腐敗するため、著しく減収します。

本病の発生適温は15℃~23℃であり、90%以上の多湿条件で発生が助長されます。本病は腐生性で、葉先枯れや枯死した花卉・果梗に発生して伝染源となるため、発病部位や枯死部位は見つけ次第除去してください。



トマトの葉先枯れに発生した灰色かび病 (赤丸内)

数値データ

(調査12月:岐阜西濃地域)

作物	病害虫名	単位	H28	平年
イチゴ	灰色かび病	(発病果率)	0	(0.1)
	うどんこ病	(発病株率)	0	(0.0)
	ハダニ類	(寄生株率)	46.0	(21.9)
	コナジラミ類	(寄生株率)	0	(2.6)
トマト	灰色かび病	(発病果率)	0	(0.0)
	灰色かび病	(発病株率)	0.7	(-)
	コナジラミ類	(誘殺頭数)	2.7	(5.5)
キュウリ(促成栽培)	褐斑病	(発病葉率)	0	(0.5)
	うどんこ病	(発病葉率)	0	(4.8)
	べと病	(発病葉率)	0.2	(8.6)
	アザミウマ類	(寄生頭数/葉)	0	(0.1)
	コナジラミ類	(寄生頭数/葉)	0	(0.0)

注1) イチゴ、トマトは3ほ場、キュウリ(促成栽培)は1ほ場調査

注2) ()内数値は平年値、株率、果率、葉率は%、頭数は頭

注3) トマトのコナジラミ類は施設内に設置した黄色粘着板1枚あたりの誘殺数(調査期間:11月5半旬~12月4半旬)

注4) トマト灰色かび病の発病株率は本年度より調査開始したため平年値なし

＝施設栽培の病害虫防除について＝

施設栽培では、作型や栽培環境などにより施設ごとに病害虫の発生状況が異なります。施設内をよく観察し、病害虫の発生状況に応じた防除を実施してください。

東海地方1カ月予報(名古屋地方気象台 12月22日)

向こう1カ月の平均気温は平年より高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年並み~少ない予想です。平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/>

〒501-1152 岐阜市又丸 729-1 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767